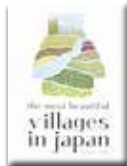




広報かわねほんちょう



2 川根本町

2018
No. 148

このまちがもっともーっと好きになる

新たな門出に 響かせる 魂の音



鈴木 峻さん
(田野口区)

山本 悠貴さん
(徳山区)

千澤 佑太さん
(坂京区)

川根本町の
赤石太鼓
がいいね！

成人式で勇壮な演奏を披露した赤石太鼓保存会と新成人



気持ちも晴れやかに、 ふるさとで迎えるハタチの門出

平成30年川根本町成人式を挙行

1 月7日、新成人の門出を祝う平成30年成人式が、文化会館で挙行されました。

今 年の成人式の対象者は、89人。当日は、そのうち70人が出席しました。華やかな晴れ着や袴（はかま）、スーツに身を包んだ新成人は、会場に到着すると、懐かしい顔を見つけては歓喜の声を上げ、一緒に写真を撮って仲間との再会を楽しみました。

式 典は、厳かな場面と和やかな気で行われました。新成人は、中学校時代を振り返るスライドショーを笑顔で楽しむ一方で、来賓祝辞では真剣な表情で聞き入っていました。また新成人紹介では、大橋教育長に名前を読み上げられた新成人が舞台上のスクリーンに映し出され、客席後部で見守る保護者や地域の方に、立派に成長した姿が示されました。

1・2 久しぶりの再会に喜ぶ新成人や「自撮り」をして楽しむ姿が多く見られた／**3** 一人一人にスポットライトが当たる「新成人紹介」は、この町ならではの企画／**4** 新成人を代表して鈴木町長から記念品を受け取った服部未侑さん（千頭東区）／**5** 成人らしく落ち着いた様子で式典に臨む新成人／**6** 思い出の品を持ち寄って、当時のエピソードを話した恩師の先生



新成人の主張

Kazuki Watanabe × Daiki Miyajima

さまざまなことに全力で取り組み、
地域医療に貢献できる歯科医師になり、
町民の健康をサポートしていきたい。

まずは野球で「全国大会1勝」、
そして教員として、町の子どもたちが
「根っこ」を張るための手伝いをしたい。

渡邊 一貴さん(徳山区)

宮島 大樹さん(崎平区)

「夢」はでっかく、根は深く」。詩人である相田みつをさんの言葉です。「大きな夢を持ちたいのなら、根を深く張らなければならぬ。根っこが深くなければならぬ。ほど大きな夢を持つことができる」。私は5年前の中学校3年生の時、この同じ成人式場で新成人の方々に対し、この言葉をメッセージとして贈り、その後「自分もこの言葉のように」と心に誓い、メッセージが書かれたタオルを自宅の部屋に掲げてきました。

そして、自分自身が成人を迎える今、私は静岡大学の教育学部に在籍しながら、二つの大きな夢に向かって精進しています。

まず、一つ目の夢は「全国大会一勝」です。私は大学の硬式野球部に所属し、全国から集まった80人の仲間とともにこの目標を掲げ、投手として日々練習に励んでいます。向上心の高い先輩方に学び、同級生や後輩たちと切磋琢磨すること、その成果が徐々に結果となって現れ始めています。

昨年のリーグ戦では、リリーフとして公式戦デビューを果たし、また秋の新人戦では、県大会優勝、そして東海大会のタイトルを懸けた戦いで勝利に貢献する投球をすることができました。しかし、夢の「全国一勝」を達成するためにはまだまだ課題が多く、チームとして

も個人としてもレベルアップが求められています。大きな夢を実現させるために、目の前の小さな積み重ねを大切にしながら、今まで以上に努力をしていきたいと考えています。

—— 目の夢は、教員になることです。大学の授業は新しい発見があつてとても楽しく、講義や演習に積極的に参加することでスキルアップを図っています。川根本町での学校生活の中で、私は常にポジティブに課題と向き合うことを学んできました。その経験を生かしながら、特に「新しい学びを創造する環境づくり」というテーマを掲げ、これから始まる教育実習やゼミでの研究でさらに学びを深め、自分が理想とする教員に近づけるように力を注いでいきたいと思っています。

さて、大きな夢をかなえるための私の根っこは、間違いなく生まれ育ったこの町にあります。さゆり幼稚園、本川根小学校、本川根中学校、そして川根高等学校。18年間の貴重な体験の中でキャリアを積み、さまざまなことを学び、鍛えられ、夢に向かって頑張る力を育てていただきました。「諦めずにしっかり前を向いて歩むこと」、「二人一人に良さがあり、それぞれ輝いてこそ価値があること」など、たくさんの方を教えています。

ただきました。今、私がこうして有意義な大学生活を送ることができているのは、この町の自然豊かな環境、地域の方々、お世話になった先生方、仲間、そして家族の支えがあったからだと確信しています。

私 はこの町が大好きです。そして何らかの形で恩返しをしたいと考えています。私は、まずは「全国大会一勝」の夢をかなえて、母校や町に活気をもたらすこと、そして卒業後は教員として町に戻り、子どもたちが大きな夢を育てるための土台となる「根っこ」をしっかりと張るためのお手伝いをすることで、川根本町のサポートをしたいと考えています。

こ れからもこの町で生まれ育ったことを誇りに思い、夢に向かって努力することを誓い、新成人代表の言葉とさせていただきます。

私は今、九州大学歯学部の2年生です。将来は歯科医師になり、地域医療に携わりたいと思っています。私が歯科医師を目指した理由は、歯科医師として患者さんの歯の治療を行う父の姿を見て、自分も父の跡を継ぎ、地域医療に貢献できるような歯科医師になりたいと考えたからです。

大学1年生の時には、歯科に
関する専門的な学問ではな
く、語学やコミュニケーション学
などの基礎科目を中心に勉強し
ました。そこで学んだことは、歯
科医師になるためには歯科分野
の学習だけでは足りないという
ことです。グローバル化が進んで
いる現代において、自分の歯科医
院の患者さんが日本人だけとは
限りません。よって、さまざまな
国の語学を学ぶことで、どの国の
患者さんにも気持ちよく治療を
受けてもらうことができると思
います。また、患者さんの症状を
的確に理解し、自分の診療計画を
正確に伝えなければなりません。
その時にコミュニケーション能
力は必要なスキルであると考え
ます。

大学2年生になってからは、
歯科の専門的な分野を学び

始めました。そこで、私の歯科医師の役割に関する考えが大きく変わりました。歯科医師の仕事は、虫歯や歯周病などの口腔疾患を治療するだけではないということです。歯の疾患の影響は、口腔だけでなく全身に関与する可能性があります。例えば、現在の日本人の死亡原因第3位である肺炎においては、口腔内環境の清潔さが大きく関係します。また、口腔疾患が、糖尿病や心臓病に深く関わっているという研究結果も存在します。そこで私は、医師と連携して、管理者として患者さんの全身ケアにも目を向ける歯科医師を目指したいです。具体的には、歯科医院に通えない高齢の方や障がいを持つ方に対しての訪問診療を、積極的に行うことが必要であると思います。また、終末期医療において、最期の時までおいしく食べ物を食べてもらうように口腔ケアをすることも大切であると感じます。

私は、大学入学までの18年間、この川根本町の皆さんに支えられ、ここまで成長することができました。今度は、私が歯科医師として医療の面から川根本町の皆さんの健康をサポートしていきたいと思っています。そのた

めに、日々の大学生活では全力で勉強に取り組むことはもちろんですが、将来、医療従事者になるという意識を常に持ち、自分の行動に責任を持つことにも心掛けていきたいです。そして、日々の生活において、人間として大きく成長するためにさまざまな事柄に全力で取り組み、将来立派な歯科医師になってこの川根本町に帰ってきたいと思っています。

本 日、このような盛大な式を挙行していただいたことに感謝し、新成人代表の言葉とさせていただきます。

◀成人式の会場内で新成人の歯科検診を行った父・克也さんと。(歯科検診の関連記事：20ページ)



川根本町長
鈴木敏夫

式 辞

本日、成人となりました皆さんは、大きな「人生の節目」を迎えました。

今後は社会の一員として地域社会や国の発展のために貢献し、日本の未来を担うという重い責任が生じて参りますが、これらのことを自覚し、自らの判断と責任により行動することが求められます。

さて、この川根本町においても、本年はまさに新たなまちづくりの年であります。3月には町民の経済活動や安心安全な暮らしを支える道として待ち望まれた国道362号「青部バイパス」の全区間が、いよいよ開通します。また川根高校では、平成30年度新入学者を対象とした全国公募が開始されました。県内や全国から川根高校に入学した生徒たちが地元の新入生とともに切磋琢磨して、川根地域に活力を与えていただき、町の活性化にも一役を果

たしてくることを期待しています。
新たに成人された皆さんのこれからの道のりは、決して平坦ではありませんが、1日1日を大切に積み重ね、10年後、20年後の自分自身の理想を思い描きながら夢に向かって努力し、歩みを進めていってください。

共通の思い出を持つかけがえのない仲間がいるこの川根本町は、皆さんのふるさとです。生まれ育った川根本町という小さな町が、未来に向かって、力いっぱい頑張っているということを感じていただきたいと思います。

結びに、これまで深い愛情をもって献身的に皆さんを育ててこられたご両親、ご家族への感謝とふるさとを愛する心を忘れることなく、自らの夢の実現と川根本町の未来のために活躍されることを期待し、また、希望に満ちた皆さんの更なるご健勝とご多幸を祈念し、式辞とさせていただきます。

私は今、静岡市内で生活し、職員として働いています。仕事柄、多くのお客さまと接する機会があり、お客さまから受けるお礼の言葉や笑顔などから大変やりがいを感じることもある反面、社会人として責任をもって働く中、それよりも辛いことがたくさんあります。そんな時、ふるさと川根本町の経験が、今の自分にとっての励みになり、大きな糧となっています。特に高校時代、野球部のキャプテンとして、チームのためにどうすべきかを自分自身で考え、仲間に支えられながら過ごした貴重な時間をよく思い出します。

最近、川根本町は多くのメディアに取り上げられるようになりまし

た。夢の吊橋や大井川の清流、南アルプスの大自然など、私にとっては見慣れた懐かしい風景が映し出され、ふるさとのよさが県内外にとどまらず、SNSなどによって世界中に紹介されていることを、大変うれしく感じています。離れてみて、改めて実感するふるさと川根本町の素晴らしさや、私たちを育ててくれた町への恩返しに、気持ちを込めて、この成人の日を機会に、自分の周

りの多くの方々に対し、今まで以上に町の魅力を発信していくことで、町の活性化に役立ちたいと考えています。

私たちは、働いている者、学業に励みながら、今日、祝ひ、激励していただきつつ、方々の思いを胸に、成人として一歩踏み出していきたいと思います。私たちは、今日から一人の大人、社会の一員としてこれまで以上に責任ある行動をとらなければなりません。また、これから多くの困難にぶつかり、挫折を経験することもあると思います。しかし、これまで皆さまに支えていただいたように、今度は、私たちが多くの人を支えられるよう、困難や挫折に負けない強い意志を持ち、より一層の努力をしていきたいと思います。

成人という節目を迎えることができたのも、家族や友人をはじめ、先生方、今まで関わっていただいた多くの方々のおかげです。私たち成人者を大きく育ててくださった全ての方々とこの町に、心から感謝を申し上げます。私は、そういった方々と歩んだ20年間がある、この町が大好きです。

皆さんには夢がありますか？もう実現しましたか？それとも夢に向かっての途中でしょうか？私は将来、学校給食の栄養士になって、皆さんに喜んでもらえるおいしい給食を作ることが夢です。私は、この夢に向かって頑張っていきたいと思っています。皆さんのご活躍を、お祈りしています。

澤谷 大晟さん(地名区)

謝 辞



中央小学校 6年
太田 萌恵さん



中川根中学校 2年
下村 優奈さん

私たちは今、RG授業を通して他校の生徒と一緒に授業やさまざまな活動に取り組んでいます。きっと先輩方も、仲間と切磋琢磨した中学校時代があって、今があるのだと思います。私も5年後、先輩方のような立派な姿でこの会場に来られるように、精いっぱい努力していききたいと思います。

私は今、野球部に所属しています。多くの方々に支えられて野球ができることに感謝し、野球を通して人間性を身につけ、皆さんのような立派な成人になりたいと思います。お時間がある時は、ぜひ高校にも立ち寄っていただき、就職先や進学先で活躍されている皆さんの近況を、私たち後輩に教えてください。



川根高校 2年
大村 拓夢さん



(上・右下) 受付や国歌斉唱の指揮・伴奏で活躍した町内中学生。
(左下・中下) 第1部では島田高校1年の渥美李咲さんが、第2部では川根高校2年の橋本明奈さんが司会を務めた。

未来のハタチ

町内の小・中・高校生が、式典の運営ボランティアや「お祝いの言葉」で、先輩たちの晴れ舞台に華を添えました。



市川 拓哉さん
(地名区)

梶山 遼さん
(藤川区)

渥美 大志さん
(下長尾区)

芦沢 麻衣子さん
(奥泉区)

久保野 葉月さん
(桑野山区)

服部 未侑さん
(千頭東区)

小澤 南海さん
(千頭東区)

板谷 賢太さん(水川区)
下段左から
松本 重翔さん(水川区)
森脇 祐矢さん(上長尾区)
田旗 栄太さん(地名区)

▲上段左から
松井 貴泰さん(高郷区)
小澤 真樹さん(下長尾区)
板谷 賢太さん(水川区)

ほしぞらダンス パラダイス



Special Interview

→ セレノグラフィカ

「この町でこそできた創作活動、公演」

子どもたちとの創作活動

阿「みんな、まっすぐに純度が高いというか。毎年違う子どもたちと接していても、その芯となる部分は共通しているな、という印象ですね。それから、舞台に立つということについて僕たちから特に何かを話すことはありませんが、子どもたちは自然にキュッと引き締まるんですね。最初はワーッと喜んでステージに上がるんですけど、次第に緊張感とか高揚感、観客に対する見せ方への意識が高まってきたな、というのが伝わります」。

隅「創作活動を通して、ただ何となく



立ったり歩いたりという動きひとつをとっても、子どもたちの身体の『強度』が高まっていくのを感じます。自分で動きを決めて身体で表現するという、小さな決断を重ねていく。最終的に舞台の上で表現することで、自分自身の深いところで何かを理解する。そしてその経験が、一瞬にして子どもたちを成長させているように感じます。ダンスが万能というわけではないかもしれませんが、ダンスにはそうした力を持っていると信じています」。

川根本町への思い

阿「初めて訪れたとき、曲がりくねった山道を抜けた先にこんなに豊かな町があるということ、そして道中の茶畑の美しさと香りに、衝撃を受けたことを思い出します。この町で、自分たちの創りたいものを皆さんと一緒に

【セレノグラフィカ】隅地菜歩さん(右上)と阿比留修一さん(左下)によるダンスユニット。国内外を問わず幅広いステージで活動。



創らせてもらったことは、とても贅沢なひとときでした」。

隅「この町にいと、普段は聞こえないことや見えないことにまで感覚が呼び覚まされるような気がします。町外からの一般公募者の中には毎年参加される方もいますが、それは私たちと同じようにこの町の持つ引力を感じているからだと思います。今では、この町に来ると『ああ、帰ってきたなあ』という思いすら感じるようになりました。私たちにとってこの町は、4年間、中身の濃い時間を過ごさせていただいた、本当に特別な場所です」。

11人が、9月から練習を重ねた一般公募者ダンスを披露。「血がながっていても家族のように生きる人たち」がテーマのダンスです。

2 誰かが口ずさんでいる

町内外から集まった一般公募者11人が、9月から練習を重ねた一般公募者ダンスを披露。「血がながっていても家族のように生きる人たち」がテーマのダンスです。

1 「マーチで弾もう！」

町内全小学4年生40人が3カ月にわたり練習を重ねてきました。女子児童は優雅に、男子児童はダイナミックにダンスを披露したほか、自分の名前を自身で創作した振付で表現する「ネームダンス」も一人ずつ発表。最後は全員で所狭しと元気に踊り、観客を笑顔にしました。

文化会館では「コンテンツラリーダンスが地域文化になることで町の活力を蘇らせる」とし、平成23年度に初めてコンテンツラリーダンスワークショップと公演を実施。プロダンサー「セレノグラフィカ」と町内小学生や町内外の一般公募者とともに公演をつくりあげる、この取り組みも今回で4年目です。

「ダンス」で地域活性化を

平成29年12月9日、文化会館で「ほしぞらダンスパラダイス」が開催されました。





茶箱作りは作業工程の数が多く、1年たってもまだ携われない工程もあります。その分、茶箱作りの奥深さや楽しさを感じますし、すべての工程を1人前にできるようになれるように、頑張っていきたいと思います。
(齊藤良太郎さん・竜也さん)



技術を受け継ぐ「新たな担い手」

前田製函所では、1年前から齊藤良太郎さん(㊟、田野口区)・竜也さん(㊟、地名区)兄弟が見習いとして働き始めています。

将来的に独立することを目指しながら、前田さんや先輩の持つ技術の継承に日々奮闘しています。前田さんも「まだまだ2人とも序の口だけど、茶箱への思いを持って取り組んでくれていて、とてもうれしい。独立できるようになるまで、たくさん苦労しながらひとつずつ覚えていってほしい」と期待を寄せます。



乾燥させた杉板を茶箱のサイズに切り出す前田さん。大きく分けて12種類もの作業工程がある茶箱作りでも、特に木材の選定や乾燥、パーツごとの切り出しといった工程では、前田さんの経験が光る。



木と、真摯に向き合う。

茶箱製造工の前田宥さんが静岡県優秀技能者に

高い技術を有し後継者の育成に尽くした者を表彰する「平成29年度静岡県優秀技能者」に、茶箱製造工の前田宥さん(下長尾区)が選ばれました。

茶箱の特長を生かした新たな用途での需要が拡大する一方で、次世代の担い手への技術継承も始まっています。



◀町長に受賞を報告した前田さん(12月6日)。

「材」を見極め手作りの逸品

前田製函所(下長尾区)の2代目として、16歳から茶箱を作り続けてきた前田さん。現在は従業員5人とともに、年間4千から5千個ほどの茶箱を製造しています。

使用するのは、町内で伐採製材された杉板。天日干しで乾燥させてから、パーツごとに切り出します。

「杉は一本ごとに性質が違う。それどころか、同じ木であっても端先と根元で勝手が違うから、どの部分にどの板を使うかを見極めていかないと。これについては、60年以上作り続けてきた今でさえ上手くない時があって、やっぱり木は生き物だなあって実感するよ」。

段ボールや紙袋などの梱包材の普及によって、本来の用途である茶葉の流通用としての需要は減少傾向にあるといいます。しかし、杉板の状態から製品として完成するまで一貫して妥協を許さない前田さんの茶箱は、さまざまな方面から支持を集めています。

「実は5日ぐらい前にも、わざわざ名古屋から買いに来てくれた人がいて。茶箱の良さを理解

してくれる人、欲しいと言ってくれる人がいる。茶箱の製作をまだ続けようと思えるのは、それが一番の理由かな」。

茶箱作りへの変わらぬ信念を胸に、前田さんは作業台の前に立ち続けます。

進化し続ける茶箱

近年、前田製函所で作られる茶箱は、優れた防湿・防虫効果を生かしたインテリア製品やさまざまな用途へと、販路を拡大しています。

茶箱の新たな需要の掘り起こしを主導しているのは、東京都にある「インテリア茶箱クラブ」です。同社では、収納を兼ねた腰掛けや布生地を張った宝石箱などの「インテリア茶箱」を、大手百貨店を中心に販売しているほか、表面にレーザーでデザインを刻印した「レーザー茶箱」も、贈答用の外箱として人気を集めています。また同社では、平成25年に町内に支社を設置し、茶箱産業の存続を目指して後継者育成に向けた取り組みも始めています。

不変の技術が詰まった茶箱は、時代の変化に適応しながらも、多くの人にその魅力を届け続けています。



12/18 さらに飛躍を目指して

サッカー J3リーグ(3部)藤枝 MYFC の幹部が来町し今季の成績を報告

藤枝MYFCの見原健司取締役・鎌田昌治代表・シジマルコーチが役場本庁舎を訪れ、2017年シーズンの成績を報告しました。

見原取締役は「目指すのは、2年後にJ2に昇格できるチーム作りとスタジアム改修。皆さんの温かい声援に恩返しするため、さまざまな場面で連携を深め、町の活性化の一助となれたら」と、7位に終わったシーズンを振り返りました。鈴木町長は「ホームタウンとして、地元の星である皆さんの活躍を期待している。さらなる躍進に向けて後押ししていきたい」と激励しました。



鈴木町長にサインボールを手渡すシジマルコーチ

「地域を守る」決意新たに

1/7

団員212人が参加し、町消防団出初式を挙

中川根中学校体育館およびグラウンドで平成30年町消防団出初式が挙行されました。

式典で鈴木町長は、「迅速で正確な対応が取れるよう訓練に励み、地域に安心感を与えられるよう、日々その責務を遂行されることを期待している」と述べました。また諸田環団長は、「十分な訓練を積み、防災上必要な教養を身につけ、地域防災のリーダーシップを取っていくことが期待されている」と団員らに呼び掛けました。

また、日本消防協会長表彰者が紹介されたほか、長年の功績をたたえて各団員への表彰状の授与が行われました。

式典終了後には、2隊によるポンプ車および小型ポンプの操法が披露されたほか、今年1年の無火災・無災害を祈念して長尾川への一斉放水が行われました。



▲町長による各分団の閲団

【日本消防協会長表彰】

▼功績章 山口輝久(副団長)

▼精績章 井口晶彦(副団長)



一斉放水では長尾川に虹が架かり、見物していた人から歓声があがった

Go, For 2020!

大村朱澄、
2018年の決意。

こんにちは
おかわらぬ
大村朱澄
です!
vol.19



2017年を振り返って

おとしし8月からの約1年半、身体を基礎から作り直す期間と決めて、日本代表チームを離れて筋力トレーニングに取り組みできました。国立スポーツ科学センターにて正しいフォームや意識するポイントなどをトレーナーからマンツーマンで教えてもらい、1年半前に比べてもケガをしにくく、また筋力が付きやすい身体を作ることができたと思います。

しかし、「夏前になると体重が落ちてしまう」というこの数年の課題をまたくり返してしまったこと、ウェイトトレーニングをメインにして水上での練習量が減少したこともあって、昨年9月の全日本選手権では、500リットルシングルで8位、500リットルペアで2位、200リットルシングルで4位という結果に終わってしまいました。続いて10月に行われた国体では、完全ではないものの全日本選手権の時よりも実戦感覚が戻ってきたこと、レース中は周りを気にせず自分の世界に集中できたことで、500リットルシングルと200リットルシングルの両種目で2位となりました。いずれの大会におい

ても、パワーアップした身体を水上でのパフォーマンスに生かすための時間が短すぎた、ということが一番の反省点でした。

ちなみにこの国体では、川根高校の小野島海選手が500リットルシングルで7位に入賞しました。後輩たちの活躍はとてもうれしですし、励みになります。

競技以外では、昨年9月に接岸湖で行われたパドルスポーツの体験イベント「奥大井パドルミーティング」に参加させていただき、競技ではない形でカヌーに乗ることができて楽しかったです。多くの人にカヌーの楽しさを知ってもらったことができたのではないかと思います。また11月には、母校の本川根中学校で講演させていただき、最後まで集中して聞いてくれた後輩たちの姿に、とても感激しました。私自身、こうした活動を通して、今の自分を見つめ直す、競技生活を振り返る、人に伝わる表現を学ぶといった貴重な機会を得ることができました。お招きいただいたことに、とても感謝しています。

日本代表、アジア大会へ

3月には今年の日本代表を決める選考会があります。今年は

代表チームに戻って水上での練習や実戦を多く重ね、チームから離れていた1年半の成果を生かしていきたいと思っています。

また8月には、4年に一度のアジア大会が開催されます。東京五輪を見据えてアジアのライバルと戦うことができる、重要な大会です。まずはこの大会に競技活動の標準をあわせていきます。

声援を力に変えて

元旦に小長井区の徳谷神社へ参拝に行った時、何人かの町民の方が声を掛けてくれました。町の皆さんをはじめ、会社や家族の支えが、私にとって何よりの励みとなっています。皆さんに良い結果を、特に「優勝」の2文字を届けられるよう頑張っていきます。これからも温かいご声援をよろしくお願いいたします。

東京五輪まで、残り2年半。
1日1日を大切に、目標に向かって頑張ります!



平成29年分所得税及び復興特別所得税の確定申告
平成30年度町県民税申告相談のご案内

■所得税及び復興特別所得税の確定申告が必要な人

- 給与の年収が2,000万円を超えている人
- 年末調整された給与のほかにアルバイト収入や農業所得などの合計が20万円を超える人
- 個人事業者や、農業・不動産所得のある人、土地や建物を売った人などで、所得税額が発生する人
- 公的年金等の所得金額から所得控除を差し引くと残額がある人（公的年金等の収入金額が400万円以下で、年金以外の所得が20万円以下の人は確定申告が不要です）

■島田税務署の確定申告会場

会 場 島田市地域交流センター歩歩路（ばぼろ） 多目的ホール （住所）島田市本通三丁目6番の1
※パソコンを利用した申告の作成指導を行っております。
※確定申告書へマイナンバーを記載し、本人確認書類の写しを添付する必要があります。
※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
※開設期間中は島田税務署の庁舎では申告書の作成指導を行っておりませんのでご注意ください。
開設期間 2月16日（金）～3月15日（木）（土・日は除きます。）
※お問合せは、島田税務署（電話37－3121）までおかけください。
開設時間 音声案内に従って操作してください。
午前9時～午後5時
○相談時間の関係上、受付は午後4時までとなります。

■無料税務相談所

会 場 島田市立金谷公民館「みんくる」会議室4 （住所）島田市金谷代官町3400
開設期間 2月23日（金）
開設時間 午前9時30分～午後4時（正午から午後1時を除く）
※昨年の確定申告書等の控えを持参してください。

■住宅借入金等特別控除確定申告事前説明会

税務署職員が申告書の作成指導を行います。
平成29年中に新築・増築された方には、日時と会場の案内が役場税務住民課から通知されます。
会 場 島田市地域交流センター歩歩路（ばぼろ） 多目的ホール （住所）島田市本通三丁目6番の1
開 催 日 2月14日（水）・15日（木）
開設時間 午前9時～午前11時30分・午後1時30分から午後3時30分

■申告書の作成は国税庁ホームページが便利です

申告会場は大変混雑し、長時間お待ちいただく場合があります。ぜひ、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」をご利用ください。作成した申告書は印刷をして、税務署に郵送してください。（〒427-8601島田市扇町2-2）

■申告に必要なもの

- 税務署から送付された確定申告書の「お知らせはがき」「お知らせ通知書」もしくは申告書。※申告書の送付に代えて「お知らせはがき」または「お知らせ通知書」が送付されることがあります。
- 町県民税申告書（役場税務住民課から送付されます。）
- 役場税務住民課へ事前提出した農業収支内訳書の下書き等
- 印鑑・ボールペン、還付の場合は振込先口座のわかるもの
- 給与や公的年金の源泉徴収票
- 必要事項記入済の「セルフメディケーション税制の明細書」または「医療費控除の明細書」
- ※平成29年分の申告からはセルフメディケーション税制（新設された、医療費控除の特例）または通常の医療費控除のいずれかを選択してください。
- ※平成29年分の確定申告から、領収書の提出の代わりに、「医療費控除の明細」、「セルフメディケーション税制の明細書」の添付が必要になりました。医療費の領収書は、自宅で5年間保存する必要があります。
- ※セルフメディケーション税制とは、申告する方が健康の保持増進および疾病の予防への取り組みを行い（例：予防接種や人間ドック）、なおかつ、特定一般医薬品などを購入した場合に適用される医療費控除の特例のことです。
- 住宅借入金等特別控除を受ける人➡契約書の写し、借入金年末残高証明書、登記事項証明書
- 譲 渡 ・ 山 林 所 得 の 有 る 人➡契約書など譲渡の内容や、入金の日がわかるもの
- そ の 他 の 所 得 が 有 る 人➡支払調書や明細書の他、入金の日がわかるもの

申告期間は、平成30年2月16日（金）～3月15日（木）です

★必要な書類等は役場税務住民課、総合支所窓口、島田税務署または国税庁のホームページにて入手をしてください。

【問】役場税務住民課 ☎（56）2223

■本人確認を行う際の書類（申告する方の確認書類が必要です。）

- ①マイナンバーカード ②マイナンバー通知カードと運転免許証等の顔写真付きの身分証明書
- ③マイナンバーが記載された住民票の写しと運転免許証
- ※確定申告書に本人確認書類を添付する場合は、コピーをしたものも持参してください。
- ※申告相談で提出された申告書については、役場職員が一時的に特定個人情報（マイナンバー）を取扱い、税務署に引き継ぐことになります。

■各地区の相談日 ○役場職員が申告相談を行います。

全会場、午前9時～正午、午後1時～午後3時受付分まで行います。 ※正午からの1時間は申告相談を行いません。

【2月の相談会場】			【3月の相談会場】		
実施日	会 場	対 象 地 区	実施日	会 場	対 象 地 区
2月16日(金)	奥泉地区集会所	大間、接岨、奥泉、大谷	3月 1日(木)	北部地域振興センター (総合支所) 2階会議室	千頭西、寺馬
2月17日(土)			3月 2日(金)		千頭東、上岸、前山、田代、柳三 【島田税務署 職員対応】
2月18日(日)			3月 3日(土)		
2月19日(月)	山村開発センター 2階 大会議室	田野口	3月 4日(日)		全地区対象
2月20日(火)		久野脇	3月 5日(月)	山村開発センター 2階 大会議室	上長尾・高郷 【島田税務署 職員対応】
2月21日(水)	徳山コミュニティ 防災センター	徳山 1-20 班	3月 6日(火)	下泉コミュニティセンター	瀬平、水川
2月22日(木)		徳山 21-33 班、 藤川 1-4 班	3月 7日(水)		下泉・壱町河内
2月23日(金)		藤川 5-21 班	3月 8日(木)		地名
2月24日(土)			3月 9日(金)	山村開発センター 2階 大会議室	八中・梅高
2月25日(日)	北部地域振興センター (総合支所) 2階会議室	全地区対象	3月10日(土)		
2月26日(月)	北部地域振興センター (総合支所) 2階会議室	沢間・桑野山・坂京・ 洗富小幡	3月11日(日)		
2月27日(火)	北部地域振興センター (総合支所) 2階会議室	小長井、平栗	3月12日(月)	山村開発センター 2階 大会議室	下長尾・久保尾
2月28日(水)		青部、崎平	3月13日(火)	北部地域振興センター (総合支所) 2階会議室	全地区対象
<注意>申告に係る書類を会場に持ち込むため、この期間 役場では申告相談は出来ません			3月14日(水)	山村開発センター 2階 大会議室	旧中川根地区対象
			3月15日(木)		旧本川根地区対象

■日曜日の申告相談（川根本町全域） 指定日に都合の悪い方は、この機会をご利用ください。

対象地区	月 日	会 場
全地区対象	2月25日（日）	北部地域振興センター（総合支所） 2階会議室
	3月 4日（日）	山村開発センター 2階 大会議室



土地建物・株式等の譲渡、消費税、相続税、贈与税の関係する方で、ご不明な点は税務署にご相談ください（音声案内に従って操作してください） 島田税務署 ☎（37）3121

平成29年度
町民読書感想文・画コンクール入賞者

町教育委員会社会教育課主催「平成29年度町民読書感想文・感想画コンクール」の入賞者をお知らせします。感想文356点、感想画26点の応募がありました。特選者の表彰は、2月25日（日）に文化会館で開催される「生涯学習のつどい」で行います。感想文特選作品は、文集として川根本町図書室で開架します。また感想画入賞作品は、文化会館および町民ギャラリーにて展示します。

感想文

感想画

小学生・低学年の部

特選	澤下 希海	中川根第一小	1年	メガネをかけたら
特選	大井 南	中央小	1年	はじめてのおつかい
入選	川島 好花	本川根小	1年	かみさまからのおくりもの
入選	宮上 叶至	中川根第一小	2年	アランの歯はでっかいぞこわーいぞ
入選	澤口 虎白	中川根南部小	2年	もぐらのたくはいびん

小学生・中学年の部

特選	山本連太郎	本川根小	3年	干したから…
特選	渡邊 麻未	中川根第一小	4年	シートン動物記 ギザ耳小僧
入選	金子 紘夢	中川根第一小	3年	ぼくはうちゅうじん
入選	坂口 月美	中央小	3年	ないたあかおに
入選	村松 明美	本川根小	4年	いのちをつなぐ犬夢之丞物語
入選	上田 倫子	本川根小	4年	捨て犬未来と子犬のマーチ

小学生・高学年の部

特選	板谷 沙輝	中央小	6年	小さないのち
入選	澤本こころ	中央小	5年	走れ、セナ！
入選	和田 歩	中央小	5年	オトタケ先生の3つの授業
入選	澤口 藍璃	中川根南部小	6年	チキン！

中学生の部

特選	原田 瑛司	中川根中	1年	うなぎ 1億年の謎を追う
特選	西村亜由美	本川根中	3年	1リットルの涙 難病と闘い続ける少女亜也の日記
入選	湯口 峻祐	中川根中	1年	不思議を売る男
入選	西田 就真	中川根中	2年	ビーバー族のしるし
入選	風間 夏希	本川根中	3年	戦争取材する 子どもたちは何を体験したのか
入選	渥美 卓弥	中川根中	3年	赤毛のアン
入選	佐藤 光	中川根中	3年	真夜中のディズニーで考えた働く幸せ

高校生・一般の部

特選	澤口 一輝	川根高校	2年	誰も知らないプロ野球「審判」というお仕事
入選	前田 紗良	川根高校	1年	君の隣をたべたい
入選	小林 実奈	川根高校	2年	いじめの構造
入選	長濱寛二郎	一 般		大井川上空における散華 1945.5.29

小学生・低学年の部

特選	椎野 愛華	中川根南部小	2年	おばけのばけひめちゃん
入選	上野真侑華	中川根第一小	1年	三びきのやぎのがらがらどん
入選	澤下 希海	中川根第一小	1年	むしたちのうんどうかい
入選	北村 哲也	中川根第一小	2年	11びきのねこどろんこ
入選	梶原 玲音	中央小	2年	きみはほんとうにステキだね
入選	坂口 快月	中央小	2年	きつねのおきやくさま

小学生・中学年の部

特選	加藤久太郎	中央小	4年	チョコレート戦争
----	-------	-----	----	----------

文化会館 ☎ 3106

「日本で最も美しい村」連合に関する
学習会を開催しました

12月15日・16日の2日間、「日本で最も美しい村」連合に関する学習会を開催しました。

連合資格委員会や加盟自治体から3名の講師を迎え、美しい村づくりに対する理解を深めてもらうこと、今後の美しい村づくりを担う推進チームを形成することを目的として、町内で地域づくり活動に取り組んでいる方をはじめ40名が参加しました。

▼15日：連合の理念や他地域での取り組みに関する講義・グループワーク

はじめに、連合副資格委員長の山田泰司氏は「農山漁村にこそ日本の本当の美しさがあり、辺境の地から日本を変えていくこと」を目的に連合が発足したことを紹介した上で、連合は「自然や風景だけでなく、人の心や食などの美しさ、『真・善・美』を通して、地域の自立を目指す。他の加盟町村や世界の先進事例から学び、自分たちの地域づくりに活かしていく。その主体は住民である」と説明しました。また、加盟審査と5年ごとの再審査では、将来に向かって美しい村づくりを進めるための学習や実践が行われているかを確認していることを紹介しました。

次に、山形県飯豊町総務企画課の高橋弘之氏から、飯豊町の最も美しい村づくりとして各地域で土地利用計画となる農村計画を住民自らが策定し、「田園散居集落景観を重視した『生活の舞台が訪れる人を感動させる』まちづくり」「地域経済を再点検して、地域で消費するものは地域で生産すること」「木材や家畜排せつ物を活用した熱供給や発電など、環境にやさしくエネルギー自給率の高いまちづくりと、新たな産業による雇用創出と農林業の活性化による持続可能な地域社会の実現」を目指していることなどが紹介されました。

講義後には、連合資格委員の藤本穰彦氏がコーディネーターとなり、連合の審査基準と照らし合わせながら、参加者が自らの活動を振り返り、最も美しい村づくりとして捉え直すグループワークを行いました。



▼16日：フィールドワーク（久野脇地区・尾呂久保地区）

久野脇地区では、恋金橋や佐澤薬師堂など恋愛にまつわる地域資源や民話があり、「縁結び」をテーマに地区内を散策するルートを開発し、地区住民がガイドとなって来訪者をもてなす活動をしています。参加者からは「点在する地域資源が上手に結ばれていた」「ガイドをしてもらうことでストーリーを描くことができた」「案内看板や休憩箇所、ビューポイントなどの整備が必要」といった意見や感想がありました。講師からは「地域の歴史や文化とお茶をつなげるストーリーを発信することで、この地域への関心度がより一層高まるはず。屋根や防霜ファンの色など景観阻害要因を改善し、さらに統一感のある景観を形成する。そのためには住民の意識統一を図ることが必要。美しい村づくりは生活や生業の中に魅力があることが重要」と講評がありました。

尾呂久保地区では、つちや農園にて世界農業遺産に認定された「茶草場農法」の実践茶園を見学し、お茶をいただきました。標高600mの地でお茶づくりに励むつちや農園では、茶業界の常識にしばられない独自の付加価値化を実践しており、その全ての根幹は土づくりからと、基本を重んじる園主のお話に、参加者は深く感銘しました。2日間を通して、川根本町の地域資源の素晴らしさを改めて感じる事ができた豊かな学びの時間となりました。

2月10日（土）には、「日本で最も美しい村」連合をテーマにした千年の学校の公開講座を徳山地区にて行う予定です。どなたでも参加できますので、ご応募をお待ちしています。



企画課・まちづくり推進室 ☎ 562221

『千年の学校』公開講座

南アルプスユネスコエコパーク編
受講者募集

千年の学校は「人づくり」、「魅力づくり」、「活力づくり」の3つの観点を好循環させた地域づくりを目標に取り組んでいます。

本年度は、本町を代表する地域資源「世界農業遺産 茶草場農法」「日本で最も美しい村連合」「南アルプスユネスコエコパーク」の3つをテーマに「地域を知る」「愛する」「誇りを持つ」ための公開講座を開催しています。今回は、南アルプスユネスコエコパークの概要や理念、他の登録地域での取り組み、町内にある核心地域の原生自然環境保全地域（光岳周辺）について学びます。

【日時】 3月21日（水・祝）午後1時30分から4時まで

【会場】 資料館やまびこ（接岨区）

【内容】

講演①「南アルプスユネスコエコパークの概論とその取り組み」

講師：若松伸彦氏（横浜国立大学産学連携研究員、日本MAB

計画実行委員会事務局）

講演②「川根本町の資源 光岳周辺の自然と環境」

講師：鈴木正文氏（資料館やまびこ職員）

南アルプスユネスコエコパークの魅力を考えるワークショップ

【申込方法】

申込用紙を観光商工課あてに郵送またはFAXで提出、または電話にて申込みください。（※申込用紙は、全戸配布します。また、町のホームページからもダウンロードできます。）

【申込締切】 3月14日（水）まで



「特設人権相談所」開設日変更します

2月の特設人権相談所の開設日を、下記のとおり変更します。なお、開設場所・開設時間の変更はありません。

変更前 2月22日（木） ↓ 変更後 2月15日（木）

【特設人権相談所について】

特設人権相談所は、川根本町人権擁護委員4人が2人ずつの組となり、町内各所で開設します。相談は無料で、秘密は守られます。お気軽にご利用ください。

【開設時間】 午後1時から4時まで

【開設場所】 文化会館（2階・第2和室）

【受付】 予約の必要はありません。会場へ直接お越しください。

健康福祉課・健康づくり室 ☎(56)2224

成人式の会場にて歯科検診を実施

1月7日、町では、榛原歯科医師会の協力のもと、「フッ化物洗口事業」について、未実施者群である本年の新成人と実施者群である来年以降の新成人のむし歯の罹患状態を比較し、その事業効果を評価することを目的としています。

当日は、新成人53名が、会場内に設けられた検診スペースで歯科検診を受診しました。この歯科検診は、今後2年間にわたり、成人式の会場にて実施する予定です。



健康福祉課・地域福祉室 ☎(56)2224

後はどう生かしていくかが課題です。

「川根茶はおいしい」と誰もが誇りに思っているのですが、「どうおいしいのか?」「他産地と何が違うのか?」と聞かれて具体的に答えられる人は少ないのが現状。「甘い」と言ってもどのよう甘いのか、感じ方は人それぞれです。販売する立場として、消費者にきちんと伝えて購買に結びつけることが大切です。

エコティかわねのプログラムも然り。参加してもらえば「楽しい、また来たい」ともらえる自信はあるのですが、実際に足を運んでももらうまでの段階で「どう楽しいのか、誰に来てもらいたいのか」をうまく伝えられていない、と反省させられました。

では、川根茶が味以外で他産地と大きく違う点は何でしょう?それは観光地であるということ。大井川鉄道や夢の吊橋、奥大井

湖上駅など、全国的に名の知れた資源がすでにあります。川根茶を一生懸命PRしようとしなくても、多くの人が自らこの町に訪れてくれているのです。まずはその人たちに「川根茶」を知ってもらうことから始めなくては!だからこそ農家と交流できる茶縁喫茶や体験型プログラムの出番なのです。

観光の人をお茶に、お茶の人を観光に目を向けさせる。それはどちらの業界にも足を突っ込んでいる私たちの役割なのかもしれません。背筋がピンと伸びる思いです。



約20種の川根茶をテイスティングし、それぞれの特徴について意見を交わす参加者。

ECO-T
KAWANE

一般社団法人エコティかわね
川根本町桑野山424-6
電話:0547-58-7000
ファクス:0547-58-7001
E-mail:ecotkawane@gmail.com



神東美希（かんとう みき）
平成24年5月から川根本町エコツーリズムネットワーク事務局を担当。この4月から一般社団法人エコティかわねの事務局長としてエコツーリズムを核とした様々なまちづくり事業を展開。

◆川根のみきていが綴る「ブログ版 川根本町エコティ日記」 <http://ecotkawane.eshizuoka.jp/>

介護保険の要介護認定を受けている場合、
障害者控除の適用と
なることがあります！

介護保険の要介護認定を受けている場合、身体障害者手帳や療育手帳等を持っていなくても、確定申告において障害者（特別障害者）控除の対象となることがあります。対象となるかは、毎年12月31日現在の自立度、認知度の程度によって決まります。

控除は、申請により町が発行する認定書を確定申告の際に提出することで受けられます。前年に控除を受けられた方も、今回控除を希望する場合には再度申請が必要となりますので、ご注意ください。

認定書の申請は高齢者福祉課または総合支所窓口業務室にて随時受け付けています。ご不明な点はお問い合わせください。

【問】 高齢者福祉課・長寿介護室 ☎(56)2234
総合支所窓口業務室 ☎(58)7070

特別企画展「光岳展」を開催中

資料館やまびこで光岳に関する展示を行っています。

川根本町には、屋久島・知床と並ぶ、本州唯一の「原生自然環境保全地域」があることをご存じですか？光岳周辺は、過去にこの地が氷河周辺の気候に被われていたことを物語る、独特な地形が残されています。

いかにしてこの地に貴重な動植物が残ったか、どのようにしてこの特別な地域が生まれたか、1万年を越える営みをひもとく、貴重な生命の軌跡を展示しています。ぜひお越しください。

【開館時間】 午前9時～午後4時30分

【場所】 資料館やまびこ（接岨区）

【入館料】 大人200円、小人100円

【問】 資料館やまびこ ☎(59)4031



2月の予定

1日(木)生涯学習合同研修会
17日(土)サーカス＆コメディ(文化会館)
16日(金)家庭教育学級閉講式・合同学習会
25日(日)生涯学習のつどい

2月の展示

※月末および月初めは、作品の入れ替え作業により展示作品が変わる場合があります。

○町民ギャラリー（年中無休）
・水難事故防止ポスター入賞作品展【中部電力】
（1月26日～2月13日）
・すこやか春の作品展【文化協会】
（2月14日～28日）
○文化会館
・水難事故防止ポスター入賞作品展【中部電力】
（1月10日～26日）
・すこやか春の作品展【文化協会】
（2月14日～28日）

皆さまお誘いあわせのうえご観覧下さい！

2月の休館日

資料館やまびこ：毎週火曜日、14日 B&G 海洋センター：毎週月曜日、第三日曜日
文化会館：毎週月曜日、第三日曜日、13日

☆2月お買得商品☆ 展示会が行いませんが！在庫一掃キャンペーン！

メーカー展示機を除き、当店の在庫商品＆機械を大特価販売!!
店頭の商品はポイント5倍・機械類は展示会価格から〇〇%値引き
常時、農機・建機・電動工具等は 現金価格 = 展示会価格にて販売致します！

農機具の購入・修理・改造など、お気軽にご相談下さい。前田機材 川根本町上長尾795-1
地域のお店だからこそ、丁寧に・迅速に対応致します。 Tel・Fax56-0006 IP050-3363-2252

むつみ学級第4回学習会を開催しました 11月29日

第4回学習会「登呂遺跡と(株)明治の見学」を開催し、むつみ学級生25名が参加しました。

登呂遺跡では、復元された住居を見学し、2500年前の米作り中心の弥生文化を学びました。私たちのルーツについて、また、現在との生活の違いについて学ぶことで、学習することの楽しさを改めて感じました。

(株)明治では、海外から輸入されるアーモンドやカカオ豆などの材料がチョコレートの製品になるまでの工程の説明を受け、厳しい品質管理をしていることを知りました。



登呂遺跡 復元家屋の前で説明を受ける



(株)明治にて 集合写真

文化会館からの お知らせ

サーカス＆コメディ

韓国の売れっ子アーティストが川根本町に初登場！
爆笑間違いなしのオリジナルコメディを
お楽しみください。

【日時】 2月17日（土）

開場：午後1時30分 開演：午後2時

【会場】 文化会館ホール（全席自由）

【料金】 大人：1,000円、小中高生：500円
未就学児：無料

【出演】 チームファニスト（韓国）

2003年に結成、韓国初のサーカスとコメディを
組み合わせた最高に楽しいエンターテイナー。
ジャグリング／マジック／マイム／ダンス／音楽
／サーカスなどを取り入れた多彩で独創的な
パフォーマンスで新時代を開いていく。

【問】 文化会館 ☎(59)3106



ノースサファリサッポロにて、
ハスキー犬による犬ぞりスキー

新年明けましておめでとうございます
今年は戌年。戌年は律義で真面目、苦勞を惜しまない晩成タイプで、
年を重ねるごとに運が開けるでしょう。

今年も川根自動車を、よろしくお願いいたします。

川根自動車株式会社

川根本町上長尾 869-2 ☎0547(56)0150

未来座談会を開催します

かわね四季の会

第一線で活躍するゲストを迎え、町の現状や未来について語り合う「未来座談会」。今年も開催します。

日時: 2月24日(土)午後1時30分から

会場:道の駅「フォーレ中川根茶茗館」(水川区)

テーマ:目の前が明るくなる話

ゲスト:杉山嘉英氏、土屋裕子氏、李厚陽氏

その他:申込みが必要です。申込み方法や詳細については、2月中旬ごろに新聞折り込みチラシを予定していますので、ご覧ください。

【問】かわね四季の会
代表 太田起博 ☎(56)1379

無料合同相談会を開催します

県土業種連絡交流会

日時:2月3日(土)

場所:静岡市産学交流センター「ペガサート」(静岡市葵区御幸町3-21)

内容:法律、登記、土地価格、境界、税務、企業会計、労働・年金、特許・意匠・商標などの各種相談。

談。

対象者:県民のどなたでも、お気軽にご相談ください。

相談員:弁護士、公認会計士、司法書士、税理士、不動産鑑定士、社会保険労務士、弁理士、土地家屋調査士が相談に応じます。

申込:相談会の当日、会場で受け付けいたします(事前予約不要)。

主催者:静岡県土業種連絡交流会

【問】静岡県司法書士会
☎054(289)3700

「国の教育ローン」のご案内

日本政策金融公庫

高校、大学などへの入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

融資額:お子さま1人あたり350万円以内

金利:年1.76% 固定金利
※母子家庭、父子家庭または世帯年収(所得)200万円(122万円)以内の方は年1.36%(平成29年11月10日現在)

返済期間:15年以内(交通遺児家庭、母子家庭、父子家庭または世帯年収(所得)200万円(122万円)以内の方は18年以内)

使いみち:入学金、授業料、教科

書代、アパート・マンションの敷金・家賃など

返済方法:毎月元利均等返済(ボーナス時増額返済も可能)

保証:(公財)教育資金融資保証基金(連帯保証人による保証も可能)

【問】教育ローンコールセンター
☎05(7000)8656
☎03(5321)8656

看護職員介護施設等再就業研修

(公社)県看護協会

研修日:2月26日(月)、2月27日(火)、3月1日(木)

会場:静岡県看護協会会館(静岡市駿河区南町14-25)

内容:講義・演習・施設見学

①介護施設の特徴と看護の役割

②高齢者の特徴と基本的なケア

③吸引の技術演習

対象者:介護施設等へ就職を考えている看護職員等

受講料:無料(託児費一部補助します)

申込締切:2月9日(金)

【問】県ナースセンター
☎054(202)1761

メール:kyouiku-sinjin@tokai.or.jp

時計電池交換、すぐできます
修理も行っています

時計・メガネ・印鑑 **タモリ時計店**
川根本町徳山732 ☎・☎0547-57-2245

「メンパ」塗り直します

2月10日までに店頭へ直接お持ち込みください。
3回塗り:三千円、4回塗り:四千元(各税別)

川根本町千頭1225-8
井川メンパ **大井屋** ☎050-5894-2806
かわねフォン 88-5701

迅速 丁寧に
お茶の仕上げ加工袋詰めいたします
茶 株式会社 坂本園
川根本町上岸110 ☎0547-59-2155

墓石・燈籠・各種石材加工
藤田石材店
川根本町上長尾861-35 ☎・☎0547-56-1177
http://www.citydo.com/sp/0547-56-1177

「先史時代」に思いをはせて

ふじのくに地球環境史ミュージアムでは、県内各地で出土した旧石器・縄文時代の遺物を展示する「先史時代の輝き」を開催しています。

本企画展では、狩りのための道具や装飾品などを暮らしにまつわるテーマごとに分類して紹介しています。町内からは上長尾遺跡やヌタブラ遺跡の出土品(レプリカ含む)も展示されています。

この機会に、先史時代に生きた人々の豊かな知性や感性に思いをはせてみませんか?

期間:2月25日(日)まで

会場:ふじのくに地球環境史ミュージアム(静岡市駿河区大谷5762)

開館時間:午前10時から午後5時30分まで(入館は午後5時まで)

休館日:毎週月曜日(月曜が祝日の場合は次の平日)

観覧料:一般600円、団体500円(1人につき)、小学生以上大学生以下・70歳以上300円

【問】ふじのくに地球環境史ミュージアム ☎054(260)7111



「夢の吊橋」の絶景、世界へ

寸又峡「夢の吊橋」の写真が、日本政府観光局(JNTO)の2018年版卓上カレンダーに採用されました。

このカレンダーは、JNTOが海外からの訪日旅行促進のために制作したもので、同局の海外事務所や在外公館、訪日旅行を扱う現地旅行会社などに配布されます。1カ月ごとに日本国内の名所を1枚写真で紹介する構成となっており、このうち7月のページに、緑に囲まれた「夢の吊橋」が採用されました。

カレンダーは非売品のため一般向けの販売や配布はありませんが、同じ画像を使用した「パソコンの壁紙用カレンダー」をJNTOのホームページから無料ダウンロードできます。キーワード「JNTO Wallpaper2018」で検索してください。



川根本町の人口 平成30年1月1日現在

世帯数	2,893世帯 (-7)	出生	0人
総人口	7,062人 (-12)	死亡	14人
男性	3,430人 (-8)	転入	9人
女性	3,632人 (-4)	転出	7人

※()内は前月比、右欄は今月中の異動 ※外国人の数を含む

今月の納期

固定資産税 第4期分
国民健康保険税 第8期分
後期高齢者医療保険料 第7期分

納期限は2月28日です。口座振替の人は2月28日に引き落とされます。残高の確認をお願いします。

税務住民課 ☎(56)2223



話楽座の活動にご支援いただき、ありがとうございます。
毎月第3日曜日に茶茗館で実施しております「月例語りの会」ですが、2月につきましては、都合によりお休みさせていただきます。
3月からは予定通り実施いたしますので、よろしくお願いいたします。

中川根語り部の会「話楽座」(事務局/蘭田はる ☎(56)0374)

木木是好日

きぎ・これ・こうじつ

都市部から地方へ移り住み、地域課題の解決やさらなる活性化のために活動する「地域おこし協力隊」。
日頃の取り組みの様子やその思いを、皆さんにお伝えします。

Vol. 3 「着任3カ月目、引き続きコツコツと」

「出材」に思いをつ

地域おこし協力隊3カ月目。だんだんと製材の依頼が増えてきました。このところ毎日、製材とその時に出る端材の片付けをしています。年末には木の駅かわねに出す材を近所の山で伐らせていただきました。もちろん太い部分は製材して使います。

いつも思うことなのですが、小規模な自伐林家にとっては、伐った木を出すことが一番の課題で、架線や重機が使えなければ、人力で引きずって出すのが現状です。木を出したいけれど、諦めて出せない方も多く、諦めています。一方、各地で簡易架線やウインチ（簡易集材機）などいろいろな工夫している例もあります。木の駅かわねは、小規模な自伐林家が出材できる取り組みです。これから長く継続していくためには多くの方の参加が必要で、木の利用と出材の両方を自分なりにもいろいろな研究していきたいと思っています。

いよいよ商品の試作へ

製材と並行して、川根本町の木を使った商品の試作も、いよいよ始めます。まずは、町内で作られている「インテリア茶箱」について、脚の部品を木工旋盤を使って作ります。ただ、すべてをひとりで行うのはとても時間がかかってしまうので、今後は興味のある地元の皆さんとグループを作って、楽しみながらやっていけたらと考えています。まずは、気軽に見ていただけるような説明会や体験会を開催しようと思えます。その前に、機械を使いやすくする作業台や仕組みを、しっかり作らないと……。やることは山積みですが、コツコツと木木是好日です。

遠い記憶の話

ふと思いついたのですが、小学校の低学年の頃なので今から40数年前、川根に来たことがありました。当時は神奈川に住んでいたのですが、母方の実家が清水にあり、夏休みに同世

代のいとこたちと大井川鐵道のSLに乗って、どこかの駅で降り、カブトムシを捕った記憶があります。他にも子どもがたくさんいて、虫カゴを渡され、カブトムシが簡単に捕れたので、今思えばそんなツアーだったのですね。ただ、木の知識もなく、夏休みに毎朝山に出掛けてやみくもにカブトムシを探していた子どもにとっては、SLに乗ったこととともにすごく楽しかった記憶として残っています。どこの駅で降りたのでしょうか？ またそんなツアーがあれば、今の子どもたちは喜ぶのではないのでしょうか。

● 鈴木 健二 すずき・けんじ

神奈川県逗子市出身。東京、静岡の石油販売会社に勤務したのち、個人で間伐と木工の仕事を開始。協力隊として、桑野山貯木場で製材・木工機械の管理と、地域の木材の利活用促進に向けた「木」や「森林」に携わる活動に取り組む。最近の関心は、古民家や農業のほか、少し昔の時代のくらしや道具など。前居住地は静岡市清水区。

